

インターネットでどこまで生活は便利になるか？

New Life with Internet

有料
サービス
& サイト
徹底検証

text: いちばゆみ photo: Watari Tokuhiro

ピピッと入場

ケータイがチケットになる「電子チケットぴあ」

「電子チケットぴあ」は、コンサートや演劇などのイベントや映画館に携帯電話だけで入場できるサービス。2003年10月にスタートし、現在電子チケットぴあサービスが利用できる「デジポケ」の登録者数は50万人。イベントの性質にもよるが、現在iモードを利用して入場する利用者は全体の10%程度となっている。

まず「@ぴあ」会員への登録が必要。次に数字8桁の@ぴあ会員IDとパスワードを入力して好きなチケットを購入する。支払いはクレジットカード。iモードまたはインターネットからチケットを購入すると、

自分専用の私書箱「デジポケ」にチケットデータが格納される。

イベント当日までに、デジポケにあるチケットデータを専用のiアプリ経由で携帯電話にダウンロードしておく。当日は、会場設置の「デジゲート」の赤外線受光部に送信して入場する。チケットデータの読み取りは2秒程度とスピーディー。

複数枚購入したチケットを友人にオンラ

インで送信し、当日は別々に入場することもできるようになっているが、送信するには相手の12桁のデジポケ番号を入力しなくてはならない。

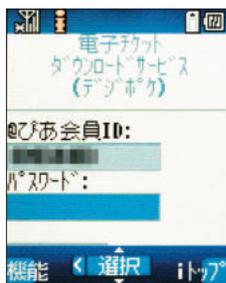
一度送った相手を登録しておけば、次回からは簡単に送信できるようにはなっているものの、iモードからチケットを購入したり送ったりするのはかなり面倒。相手のメールアドレスさえわかればチケットが送れる……というようになることを期待する。

また、購入チケットデータは、携帯電話だけでなくパソコンやコンビニの情報端末経由で、ぴあ電子チケットカードやNTTコミュニケーションズのセーフティパスなどのICカードに書き込める。デジゲートには、非接触ICチップ対応の受信部もあるので、これらのICカードでも利用できる。

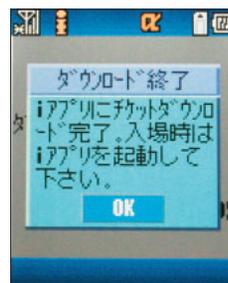
現在NTTドコモが実施中の「iモードFeliCaプレビューサービス」にも対応する予定で、5月からは六本木ヒルズ内の森美術館への入場や、店舗や施設内の電子クーポン提供の体験サービスを行う。



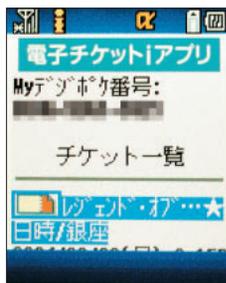
緑のランプが赤外線受光部。上の楕円部分は、ICカード用の受け口(銀座丸の内ルーブル)



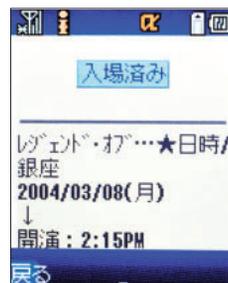
a まず会員IDとパスワードを入力



b 購入後、携帯電話にダウンロードしておく



c 会場でチケットを確認



d 送信が終了すると入場済みの表示

ここまで進化した ケータイECサービス

いまや私たちの日常生活になくはならないツールとなった携帯電話。メールやインターネットはもちろんのこと、携帯電話だけで買い物ができたり、コンサートに入場できたり……と、さまざまな便利な使い方が考えられ、そのいくつかはすでに現実のものとなっている。

今、「ケータイでできること」は、ここまでスゴくなっている。

ケータイが航空券に!

全日空の空港チェックイン実証実験「e-チェックイン」

NTTドコモが2003年12月11日よりスタートしたiモードFeliCaプレビューサービスは、ソニーが開発したFeliCaという非接触IC機能を内蔵した専用の携帯端末を利用して、さまざまなサービスを行うフィールド実験だ。

非接触ICとは、内部にアンテナを持ち、外部の端末が発信する弱い電波を利用してデータを送受信するもの。

全日本空輸株式会社(全日空)では、この専用端末を利用して、空港自動チェックインの実証実験「e-チェックイン」を2004年3月4日から行っている。これは同社の

社員200名が対象で、成田空港にあるチェックイン専用端末で、事前に購入した航空券の情報と本人認証を行い、搭乗券を発券するというもの。

まず、iアプリをダウンロードして「マイボックス」を開き、航空券の予約番号と名前を入力して事前にチェックインをする。この間、何度もSSL通信による認証がかかるので、結構時間がかかる。

空港では、端末をチェックイン機にかざしてFeliCaの記録データを送信した後、認証用の写真を撮影。同機のパスポート読み取り部分でパスポートをスキャンして

貼付の写真と照合。撮影した顔写真情報は、二次元バーコード化され搭乗券に記載されたうえで発券される。この搭乗券を持って保安検査場に行き、再度顔写真を撮影して照合、搭乗ゲートでもさらに一度同じ方法で照合を行う。

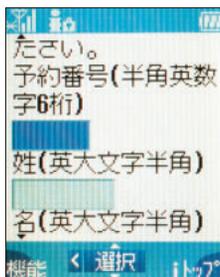
サービスの開始は、近々を目指しているという。飛行機、特に国際線の場合はセキュリティ上の問題から、改札をピピッと通り抜けるようにはいかないが、混雑する搭乗手続き窓口でのチェックインを機械でスピーディーに処理できるメリットは大きい。



a まずiアプリを立ち上げてマイボックスを開く

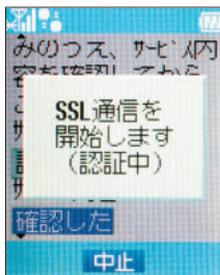


b チェックインに必要なデータを書き込む



c 必要事項を入力。チケットデータをダウンロード

使用する端末。「iモード」ロゴの下の羽のようなマーク部分にFeliCaチップがある



d 認証作業中。認証作業は頻繁に行われる



e 事前に購入したチケットデータの詳細が出た



f 自動チェックイン機にFeliCa部分をかざす



g スキャンしたパスポート写真と照合用の写真撮影



h 二次元バーコード付きの搭乗券が発券された!

電子チケットぴあ(ぴあ)

URL <http://t.pia.co.jp/>

対応機種: NTTドコモ 赤外線通信機能・iアプリ搭載のiモード
対応機種 504i/S、505i/S、FOMA 2051/2701/2102V/900i
(ぴあ電子チケットカードやセーフティパスで入場することも可能)
サービス利用条件: @ぴあ会員に登録が必要(入会・年会費無料)

データ送受信方式: 赤外線通信

ステータス: 本サービス

現在利用できる箇所: 常設されている映画館・コンサートホールなど約25か所。イベントによっては臨時で利用可能

e-チェックイン(全日空)

URL <http://www.ana.co.jp>

対応機種: NTTドコモ 非接触ICチップ内蔵iモード対応携帯電話 N504iC・SO504iC

サービス利用条件: 参加企業によって異なる。専用端末が必要

データ送受信方式: 非接触ICチップ

ステータス: フィールド実験中(プレビューサービス)

現在利用できる箇所: 参加企業によって異なる。全日空の場合、現在は成田空港のみで社員向けの検証段階

財布からクレジットカードを出さなくてもOK!

手間いらずのクレジット決済「VISA ッピ」

VISA ッピは、iモードの赤外線通信機能を利用してクレジット決済を行うサービス。2003年10月より、約3000名のモニター会員によるマーケティングテストが行われており、今年7月には商用サービスが開始される予定となっている。

いち早くVISA ッピのサービスを開始した日本信販(NICOS)の加盟店舗(CDショップ NOMURA)にお邪魔した。

まず、クレジットカード番号などの情報が格納されたiアプリを立ち上げて4桁の暗証番号を入力。店舗に設置されたPOS装置と赤外線通信でクレジットカードの情報を送信し、カード会社に情報照会を行う。iアプリを立ち上げるのに4~5秒、赤外線通信に2秒ほどかかるが、従来のプラスチックカード利用での決済に比べるとはるかに速い。実際のモニター使用においても、操作の速さや簡易さから、これまでカードの使用をためらっていたような少額の商品購入にもVISA ッピで決済するといった動きが見受けられるようだ。

携帯電話にカード情報をダウンロードする際のカードデータや、店頭で決済を行う

際のPOS機への送信データは暗号化されているため、発信時にカードデータを詐取することは難しくなっているという。昨今、相次いで起こっている磁気カードによるスキミング犯罪対策としては強い味方となりそう。

現在は、通常のプラスチックカードによる決済と同様、VISA ッピ利用時も最後は明細書にサインが必要となっているが、近い将来にはサインレスにするように検討しているとのこと。また、利用履歴やポイント情報なども携帯電話でいずれは確認できるようにしたいとのこと。

現在、VISA ッピとは別に、NTTドコモの非接触型ICチップ(Felica機能)搭載携帯電話によるフィールド実験サービスが行われていて、さまざまな企業が参加している。

日本信販は、FeliCaプレビューサービスに参加しているが、一部のコンビニ店舗(デイリーヤマザキ)や時間貸し駐車場(パーク24)といった限られた場所での利用を考えているようだ。ある程度の利用額を限定することでカード情報照会の手順を

VISA ッピ(ビザ・インターナショナル)

URL <http://www.visa.co.jp/>

対応機種: NTTドコモ 赤外線通信機能・iアプリ搭載のiモード対応機種 504i/504iS、505i/505iS、FOMA 2051/2701/2102V

サービスの利用条件: 事前にカード会社にカード会員の登録申請を行い、モニター会員に登録

データ送受信方式: 赤外線通信

ステータス: モニター会員によるマーケティングテスト実行中(モニター数: 約3000名)

VISA ッピ発行会社: 日本信販、三井住友カード、UCカード、トヨタファイナンス
利用可能店舗数: 約1200店

店舗情報 URL http://www.visa-e-mailclub.com/ent_u/visappi_p/index.html

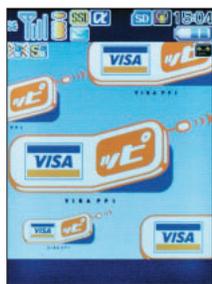
NICOS VISA ッピ(日本信販)

URL <http://www.nicos.co.jp/infrared/index.html>

モニターテスト期間: 2003年10月1日~2004年6月30日

利用可能店舗数: 約1400店舗

省略し、決済作業を簡素化することが可能だという。「非接触型ICの最大のメリットは、瞬時に決済できるということと考えている」(日本信販株式会社・企画開発部事業開発第1グループ グループ長の鳴川竜介氏)



a iアプリを立ち上げるとVISA ッピのロゴ



b 4桁のパスコードを入力して赤外線受光部に送信



c 店頭のPOS機にクレジットカード情報を送信



d カード会社との間で認証作業



e データ送信2秒ほどで決済完了!



f カードなしで無事にCDを買えました!

ますます注目したい

今後、ケータイECサービスはどう展開していくの？

株式会社NTTドコモ iモード事業本部・iモード企画部長 **夏野 剛氏**

iモードが誕生して5年。サービス開始当初は、社内ですら「携帯電話の小さい画面で情報を読むなんて受け入れられるわけがない」と疑問視されていたが、3年で普及し5年経った今では誰しもが当たり前のようになり、携帯電話でインターネットサービスを利用している。iモードFeliCaのサービスも、同じように、3年で普及し5年でみんなが当たり前のようにな

りますよ。とても便利ですからね」と、夏野氏はiモードFeliCaの普及に対して自信満々だ。

毎日持ち歩く携帯電話に付随していれば便利なサービスはすべて載せていく。サイトも免許証も家のカギすら持たなくても、携帯電話だけあれば外出先での用事はすべて事足りるようにしていくのが究極。「iモードサービス開始当初から思い描

いていたことが、ようやく最終段階まで到達しましたね」という夏野氏。現在のプレビューサービスに引き続き、今年の夏にも対応端末を506i・900iの両方にリリースする。以後、ドコモから発売される端末に標準でFeliCa機能を搭載することを目指す。インフラが普及すれば使う人も比例して増えるというのは、この5年で実証済みだという。

KDDI株式会社 au事業企画本部・サービス開発部モバイルコマースグループ 次長

阪東謙一氏

トライアルを終了し、できるだけ早期の商用化を目指しているKDDIのクレジット決済サービス「Kei-Credit」。三井住友カード、JCB、トヨタファイナンス、UCカードなどが参加して第3世代携帯電話「CDMA 1x」を使い実験が行われた。

大きな特徴は、実店舗での決済とEZweb上のオンラインショップ(パチャル店舗)での決済の両方を1つの携帯電

話で実現したということ。通常、インターネットでのオンラインショッピングでは、購入時に16桁のカード番号を入力しなければならないが、Kei-Creditの場合は4桁の暗証番号を入力するだけで決済できる。これは加入者識別情報を発展させたICカード「UIMカード」に格納されたカード情報をサーバー側の情報との相互認証と、SSLによるセキュリティー通信を行うこと

で可能にしている。実店舗での買い物は、4桁の暗証番号を入力後にカード情報を赤外線通信で送って決済する。

「Kei-Creditでは、実店舗では当面ICカード(UIM)ベースで赤外線通信による決済を行う。赤外線通信の規格は世界標準を利用しているため、世界中どこでもクレジット決済が行えるようになるという利点もあります」と阪東氏。

「iモードFeliCaプレビューサービス」と「Kei-Creditトライアル」

名称	iモードFeliCaプレビューサービス	Kei-Creditトライアル
実施期間	2003年12月17日～2004年夏頃(各企業によってサービス時期が異なる)	2003年3月17日～2003年8月15日
対応端末	N504iC、SO504iQ(5000台)	CDMA 1xを利用した試作版(モニター数:約2300名)
実施内容	チケット購入、入場・入出管理への応用、クレジット決済など	オンラインショップと実店舗におけるクレジット決済
データ送受信方式	非接触ICチップ(ソニー開発によるFeliCa)	UIM(User Identity Module)カード(赤外線 IrFM)
参加企業数	27社(エーエム・ピーエム・ジャパン、UFJカード、JR東日本など)	ジェーシービー、トヨタファイナンス、三井住友カード、UCカード
対象地域	全国(各企業によってサービス対象者が異なる)	関東、中部、関西地区
商用化予定	2004年夏頃(対応端末発売時)	未定

数年後になる？

ECケータイサービスは本当に身近になるかも……

どんどん便利になりつつあるケータイECサービス。5年もすれば誰しもが携帯電話で駅の改札をピッと通り、コンビニでもお財布を出さずに買い物している光景が当たり前になるかもしれない。

ただ、まだまだ現段階では今ひとつ便利さがピンとこないのも事実。

チケット購入時には会員番号や予約番号、IDとパスワードの入力が、かなり面倒というのが実感。また、セキュリティー上

の問題もあるとはいえ、何度も認証通信が行われたりと、結構時間がかかる。

VISAッピでの決済は、iアプリを立ち上げるのが少々面倒くさいが、決済手続きはスピーディーなので便利かも。ビザ・インターナショナル・新技術推進部ディレクターの山本正行氏によると、「“世界どこでも使える”VISAのブランドイメージはあるが、現在のところVISAッピは国内での展開になる」とのこと。海外での使用に関する問

題があるとはいえ、国内利用においてはこれで十分のような気もする。

iモードFeliCaのようなサービスの非接触で一瞬に認証できるメリットを生かせる決済系のサービスと、オンラインショップなどのパチャルな世界でのクレジット決済は、使われる用途によって分かれそう。SuicaなどすでにICカードベースで普及しているサービスは、携帯電話端末においてもすんなりと受け入れられそうだ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp